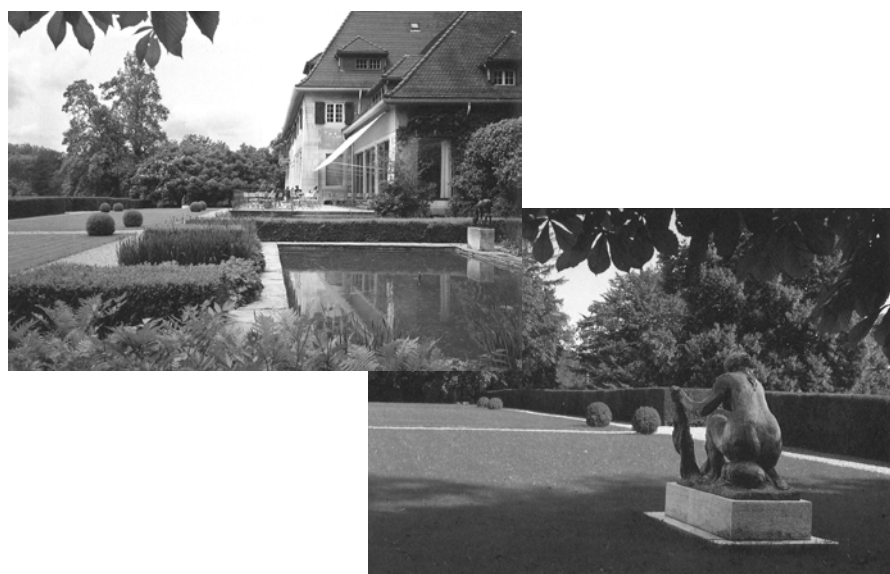


スイス国立チューリッヒ芸術大学教授による マスタークラス

Zürcher Hochschule der Künste Professor Master Class

要 項



TIAA

東京国際芸術協会

<主旨>

音楽の勉強に意欲的な音楽家を対象に、豊かな表現力の習得や新たな可能性を引き出すための学習機会を提供することで国際的に活躍できる音楽家の育成を行い、音楽文化の発展や向上に広く寄与することを目的として開催いたします。

<実施概要>

スイス国立チューリッヒ芸術大学教授によるマスタークラスが2018年8月に開催されます。教授陣は高い知識をもち、現役の音楽家として活躍する専門家で構成され、その多くは世界中での演奏実績をお持ちであると共に国際コンクールの審査員としても活躍されています。スイス国立チューリッヒ芸術大学は1873年に設立され、145年の歴史を持つ芸術大学です。世界的に有名な音楽家(チャイコフスキー国際バイオリンコンクール優勝者神尾真由子・ショパン国際ピアノコンクール優勝者ユリアンナ・アウデーエワ等)を輩出し、素晴らしい素質を持った音楽家が多く在籍しております。希望者には現地留学事情、住居等の生活事情についての情報伝達、チューリッヒ芸術大学受験に際しての情報伝達も可能です。また、既に活躍されている音楽家の方々にとっても、様々な教授のレッスンを聴講することは今後の指導方法に大きく影響を与えることと思います。校内には音楽教室が併設されており青少年の音楽教育にも力を入れていきますし、観光にも適した場所のため親子でご参加の方々にも充実した日々をお過ごし頂けることでしょう。これまでに10名を超える方々が本マスタークラスを経てチューリッヒ芸術大学に入学した実績がございます。

<マスタークラス日程>

A日程: 2018年8月26日(日)～8月30日(木)

B日程: 2018年9月2日(日)～9月6日(木)

C日程: 2018年9月8日(土)～9月12日(水)

<開催地>

スイス国立チューリッヒ芸術大学(スイス・チューリッヒ)

※ピアノ、トロンボーン、クラリネット、オーボエ、室内楽レッスンは大学にて行います。また、カルミナ四重奏団をレジデント(客員教授)として持つチューリッヒ芸術大学では室内楽(歌曲伴奏、デュオからアンサンブルまで)にも力を入れていきます。

<スイス国立チューリッヒ芸術大学教授>

ピアノ科: Karl Andreas Kolly(カールアンドレアス・コリー) ※AB日程のみ/ Hans Juerg Strub(ハンス・ユルグ・シュトループ) Eckart Heiligers(エックルト・ハイリガーズ) ※BC日程のみ

ヴァイオリン科: Rudolf Koelman(ルドルフ・ケールマン)/Andreas Janke(アンドレアス・ヤンケ) Matthias Enderle(マティアス・エンデレ)

ビオラ科: Wendy Enderle(ヴェンディ・エンデレ)

チェロ科: Martina Schucan(マルティナ・シュカン)

フルート科: Marianne Goldschmidt(マリアンネ・ゴールドシュミット) / Christian Studler(クリスティアン シュトラー)

オーボエ科: Loise Pellerin(ルイス・ペレリン) ※AB日程のみ

クラリネット科: Fabio Di Casola(ファビオ・ディ・カソラ) ※BC日程のみ

トランペット科: Claudio Rippers(クラウディオ・リップパーズ)

サクソフォン科: Jean George Koerper(ジーン・ゲオルグ・ケルパー)

トロンボーン科: Stanley Clark(スタンリー・クラーク)

ユーフォニアム科: Thomas Ruedi(トーマス・リュエディ)

チューバ科: Anne Jelle Visser(アン・ジェリ・ヴァイザー)

声楽科: Scot Weir(スコット・ワイヤー)

<レッスンについて>

チューリッヒ芸術大学教授によるマンツーマン主科個人レッスンの1回のレッスン時間はおよそ45分レッスン(質疑応答込み)です。期間中2回の個人レッスンを受講します。また、レッスン以外の時間は他の受講者のレッスンを聴講することになります。他の専攻の生徒様たちの演奏を聞き、教授のレッスンを体験する貴重な機会となります。

※申し込み時に提出されたレッスン曲目については事前説明会までに教授陣アシスタントの連絡により再度相談可能です。

<マスタークラス参加費>

600スイスフラン (2018年2月5日現在 1スイスフラン約118.18円換算 70,908円)

室内楽 850スイスフラン (2018年2月5日現在 1スイスフラン約118.18円換算 100,453円)

※追加レッスン 1レッスンにつき特別料金 27,000円(レッスン同時通訳 込み)

海外で音楽を学ぶという貴重な機会を有意義に過ごしていただくため、教授陣のご厚意により特別に追加レッスンの時間を設けていただけることになりました。値段も通常のレッスンよりお安くしていただいております。

これまでのマスタークラスでは、参加者の70～80%の方々が追加レッスンを希望しています。特に受験を考えていらっしゃる方々においては、教授陣が4回以上のレッスンを推奨しております。

<修了証>

マスタークラス修了日に担当教授より修了証が授与されます。

<参加資格>

マスタークラス受講時に40歳以下の方。ヴァイオリン教授は一部レベル制限があり、ルドルフ・ケールマン教授、アンドレアス・ヤンケ教授のレッスンをご希望の場合は事前の音源審査があります。パガニーニ無伴奏カプリス、またはイザイ無伴奏ソナタの一楽章の演奏映像を収録したDVDの送付あるいは動画サイトへの投稿のいずれかで審査となります。

<定員>

A日程からC日程まで 各コース6名(定員になり次第締め切り)

<渡航日程>

A日程(前期): 2018年8月25日(土)出国～8月31日(金)日本帰国(8月30日現地出発)

B日程(中期): 2018年9月1日(土)出国～9月7日(金)日本帰国(9月6日現地出発)

C日程(後期): 2018年9月7日(金)出国～9月13日(木)日本帰国(9月12日現地出発)

<渡航・宿泊・食事>

旅行費用 (26歳未満) 518,980円 (26歳以上) 524,080円 *年齢は出発日時時点の年齢です

旅行費用には以下を含みます

- 1) ホテル宿泊代金および食事代金 132,000円 ホテル1人部屋5泊6日朝食込み、食事(昼食4回、夕食5回 各1回40フラン)
※食事時の飲み物は自己負担
- 2) スイスパス4日間(26歳未満231フラン、26歳以上270フラン)及び現地空港からホテルまでの交通費、美術館等観光費用
(26歳未満)38,400円 (26歳以上)43,500円 1フラン118.18円(2018年2月5日現在)換算
※レッスン会場への移動、自由行動時の公共交通機関の利用はスイスパスでまかいません
※スイスパスについては数か月ごとに値段が改訂されるため、ご請求書発行時の金額でご請求いたします
- 3) 往復航空券 265,000円
- 4) 現地教授アシスタント先生通訳同行費(TIAAより派遣) 30,000円
- 5) その他航空券に係る費用(燃油サーチャージ、国内空港使用料、航空保険料、現地国際空港税含む) 36,300円
※航空券に係る費用につきましては燃油の高騰、レートの変動等にもない、金額の変更がある場合がございます。
※航空保険料は、海外旅行保険とは異なりますのでご注意ください。
- 6) 事務手続き代金 12,960円
- 7) 海外送金手数料 4,320円

～宿泊・食事について～

※滞在先ホテルは1人部屋をベースとしております(友人同士や親子でご参加の場合はご希望に応じて2人部屋の手配も可能)
※朝食・昼食・夕食込み(食事は原則皆様と一緒に召し上がりがいただきます)。

朝食はホテルでのビュッフェ

昼食は現地のランチスタイル(カフェでのケーキやパフェとお茶、レッスンの日はカフェ手作りのサンドイッチのテイクアウト等)

夕食はスイス料理(チーズフォンデュやレスティ)、イタリア料理、アジア料理等レストランでの食事

※チューリッヒ芸術大学への往復およびレッスンにおいては教授アシスタントが同行します。

※宿泊ホテルは指定した1箇所での滞在となり、教授アシスタントも一緒に滞在いたします。

※滞在中は団体行動となります。お互いに配慮した行動をお願いします。

～渡航について～

※全コース共に現地到着空港で教授陣アシスタントの先生が出迎えます。日本からの付き添いはございません(渡航時の注意点等については、説明会で詳細な説明を行います)。

※飛行機は原則として羽田または成田空港発着便にてお手配させていただきます。航空会社は日系又は欧州系を予定しております。

※東京以外の発着については、お手配が可能な場合に限り国内線の乗継便のお手配を承ります。その際、別途国内線分の代金が発生する場合がございます。

※マスタークラス終了後の延泊や、他都市を周遊してからの帰国のための帰国便の変更につきましてはお手配が可能な限り承ります。別途航空券代の差額が発生する場合がございます。マスタークラス終了後、延泊期間及びその帰国便については自己責任の範囲となりますのでご了承ください。

※飛行機自己手配の方は、後日、ご自身で手配した利用飛行機会社、便名、出発および到着日時をお知らせいただきます。飛行機自己手配の方は往復航空券、サーチャージ、空港税を上記旅行費用から差し引いてご請求します。自己手配の方が飛行機の遅延等によって集合時間に間に合わない場合、延着をしてレッスンに間に合わない場合等の責任は一切負いません(ホテル代金等の返金もありません)。ご自身の責任においてご対応をお願いいたします。なお、自己手配の方は原則として1人部屋のみの手配となります。

※教授陣の都合により、マスタークラス日程初日の夕刻からレッスンが始まる場合があります。同日にチューリッヒに到着される方は、11時までには到着する便をお手配いただく必要がある場合がございますので、お手配前に詳細をお問い合わせください。

※飛行機自己手配の方のご集合場所は現地空港となります。空港到着後、協会手配の飛行機の到着時間に合わせてご集合いただき、一緒に滞在先のホテルまで移動いたします。先に単独でホテルに向かうことはできません。必ず空港でご集合となります。帰国時は、ご出発間際までレッスンの入る場合がありますので、空港解散といたします。

※宿泊先、食事場所の自己手配はできません。航空券自己手配の方も現地集合後は安全上同行員の指示に従ってください。

※チェロ等、飛行機内持ち込みに制限がある楽器につきましては、機内座席を参加者ご自身の席を含め、2 席購入していただく場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

※ABCコースとも参加人数が3名を切る場合にはマスタークラスを実施しない場合がございます。また、教授のご都合によりお申し込み後にコースを移動していただく場合もございます。飛行機自己手配の方につきましてはマスタークラス実施決定後に飛行機をお手配いただきますようお願いいたします。

※保護者様のご同行につきましては同行費がかかります。レッスンの聴講費は1名様までは無料、2名様以上の場合は受講費の半額をお支払いいただきます。なお、保護者様の期間中の単独行動はできません。全ての行動に同行していただきますので予めご了承ください。

～生活・費用等について～

※安全のため、夕食後ホテルに戻って以降のホテルからの外出は、原則としてご遠慮いただきます。

※事前説明会において、曲目に関するアドバイス、レッスンの形態、現地での生活などの様々な疑問に対して、現地での教授アシスタント兼同行通訳スタッフがお答えします。説明会でご説明した内容については順守していただきます。また、留学をお考えの方々に対してはアドバイスもいたします。説明会は一括説明の後に、それぞれの方々からの個別質問、その後個別相談という形になります。

<レートについての注意事項>

上記費用のレート計算は、費用ご請求書発行時(お申し込み受諾後)のレートを適用させていただきます。また、レートにより上記費用が変動になる可能性がございます。ご了承下さい。

<申込方法>

申込書に必要事項をご記入の上、下記事務局までお送りください。音楽受講者は伴奏譜も一緒にお送りください。**お申し込み後、内金としてご旅行費用の一部(10万円)をお振込みいただきます。**お振込先はお申込書提出後ご案内いたします。

お振込後、定員に達しないなどの理由により当マスタークラスが実施されない場合には全額をご返金いたします。

申込書ご提出後、当協会、また教授陣アシスタントの方との連絡手段は主にメールとなります。パソコンのメールアドレス(ない場合は携帯のアドレス)を必ずご記入下さい。携帯のアドレスの場合は、必ずパソコンからのメールを受け取れるようにしてください。申込書ご提出後は当協会や教授陣アシスタントからのメールによる連絡を見落とさないようお願いいたします。

<申込締切日>

2018年5月15日(火)必着(FAXの場合は18時まで)

※オーディションを受講され受講料免除(合格・準合格)となられた場合、申し込み後でも助成が適用されます。

※締切日以前でも、申込者が定員になり次第、受付を終了いたします。

<キャンセルについて>

申し込み後のキャンセルの際はキャンセル料として事務手続き代金 12,960円をお支払い頂きます。加えて、申込締切日以降のキャンセルにつきましては旅行費用から航空券代金を引いた額の50%、渡航1ヶ月前以降のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の75%、無連絡不参加及び旅行開始後のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の100%をお支払い頂きます。

※渡航業務に関しては東京国際芸術協会より下記の旅行会社に委託します。渡航手続き関連で必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。(株)東京国際ツアーズより直接ご連絡を差し上げますので予めご了承ください。

株式会社東京国際ツアーズ 観光庁長官登録旅行業 1353号 (社)日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301 TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

※航空券につきましては早期割引運賃航空券のため、予約変更不可です。予約の変更や取り消しの場合は航空会社所定の手数料及び弊社手数料を頂戴します。

<その他>

※このマスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

※マスタークラス参加にあたってはご滞在期間をカバーする海外旅行保険の加入が義務付けられています。クレジットカード付帯の保険は認められておりません。必ず保険会社の海外旅行保険にご加入ください。現地で緊急に通院等が必要な場合に備えて、緊急時に日本語のサポートがあるような保険会社をお勧めいたします。当協会がお勧めする海外旅行保険はお申し込み後にご案内いたします。

<説明会のお知らせ>

マスタークラス全体説明会を2018年7月1日(日)に都内会場にて行います。説明会の場所及び詳細な日時については決定次第お申込者様にご案内いたします。説明会には必ずご参加者ご本人のご参加をお願いいたします。また、未成年の方が講習に参加する場合は、ご両親様の参加もお勧めしております。

<お問合せ・お申込み先>

一般社団法人 東京国際芸術協会

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7108 FAX 03-3806-8555

<http://www.tiaa-jp.com> E-mail:info@tiaa-jp.com

<教授陣プロフィール>



●Karl Andreas Kolly (カールアンドレアス・コリー) 教授

教会オルガニストである父親 Karl Kolly と Karl Grenacher から初めにピアノレッスンの手ほどきを受け、Zuerich Musikakademie にて Hans Schiker の元で学ぶ。ベルンでは Karl Engel の元でマスタークラス受講、1991 年には最優秀ソリストディプロマである、Eduard Tschumi Preis を受賞。ルツェルンでは Mieczyslaw Horczowski の元でマスタークラスを受講、Jecklin コンクール第一位、チューリッヒでは Landolt und Hochschul 賞、Prix Maurice Sandoz 内のコンクール第一位など数々のコンクールを制覇する。全ヨーロッパ、日本、韓国、オーストラリア、アメリカ合衆国でソロピアニスト、室内楽ピアニストとして、多くのコンサートを行い、大成功を収める。また、インターナショナルミュージックフェスティバルルツェルン、パッサウとドナウでのフェスティバルなどにも参加。チューリッヒ トーンハレオーケストラ、ベルンシンフォニーオーケストラ、スロヴァキアラジオシンフォニーオーケストラ、バルセロナ オーケストラ シンフォニーなどと共演。室内楽ピアニストとして Trio Novanta を結成し、ブラームス、フランクの全作品集を演奏する。1992 年にはシューマンの演奏と共に初 CD を作り、好評を博す。それ以来、30 枚以上の CD を作成している。現在はチューリッヒ国立音楽大学大学院で教授として指導にあたっている。

***カールアンドレアス・コリーは音楽史やヨーロッパ史において、博識高く、ピアノの演奏だけでなく、様々な作曲家のエピソードも聞くことのできる教授です。**



●Eckart Heiligers (エックアルト・ハイリガーズ) 教授

Karl-Heinz Kämmerling の元で Hannover 音楽大学を卒業し、Baltimore では、Leon Fleischer の元で学ぶ。様々な奨学生に選ばれる。(USA. Stipendiat der Studienstiftung des Deutschen Volkes, des DAAD und des Deutschen Musik-wettbewerbs. France Graage Performance Scholarship) Vercelli, Athen, Salt Lake City und Oslo 等の国際コンクール優勝者であり、ソリスト・室内楽奏者・歌曲伴奏者として、世界中でコンサートを行っている。また、国際コンクールでの審査員も務める。

***ヨーロッパで 1 番のトリオと言われている Jean Paul Trio のピアニストでもあるエックアルト・ハイリガーズ。テクニックと共にダイナミックかつ繊細な音楽性を兼ね揃える彼は、CDリリースにおいても絶賛されています。**

●Hans Juerg Strub (ハンス・ユルグ・シュトループ) 教授

Christoph Lieske による指導を Winterthur 音楽院で受け、すでにこの時から数多くのコンクールで優勝する。14 歳でオーケストラとの共演を果たし、16 歳でピアノリサイタルを開催し、スイス国営ラジオによって録音も行われる。Hannover 音楽大学では、Prof. Hans Leygra の元で学びコンサートディプロムを取得する。Tatjana Nikolajewa, Gaby Cassadesus、Zoltán Kocsis、György Kurtág のマスタークラスで研鑽を積み、後の音楽性の発展に大きな影響を与える。1981 年に Jaén 国際コンクールで 3 位となり、1 年後 ドイツ音楽大学コンクールで 2 位を獲得する。《Concours Piano 80》では 3 度の優勝を果たし、1986 年には、《Festival International de Jeunes Solistes》in Bordeaux にて銀メダルを獲得する。Hannover で後進の指導にあたった後、1988 年よりチューリッヒ芸術大学で教鞭を取る。1997 年には、日本でもマスタークラスを行い、2006 年にはゲオルギアの名誉教授となる。ソリスト、室内楽奏者として、ドイツや日本でもリサイタルを行い、Tonhalle-Orchester Zürich und dem Stadorchester Winterthur との共演や Gerd Albrecht, Mario Venzago, Theodor Guschlbauer, marc Tardue 等と共演する。ラフマニフピアノ協奏曲や、ブラームス、シューマン等の CD をリリースしている。

***ハンス・ユルグ・シュトループの持つ音色の色彩の美しさには、ピアノの音の奏で方の多様性を学ぶ事が出来ます。彼の持つ音の世界には何万もの可能性がある事を知る事が出来ます。**



●Rudolf Koelman (ルドルフ・ケルマン) 教授

アムステルダム音楽院で学び、1978 年から 1981 年に Jascha Heifetz 最後の弟子として、ロサンゼルス南カリフォルニア大学で学ぶ。その後 1999 年までロイヤルコンセルヘボロオーケストラ(オランダ)コンサートマスターを務める。コンサートツアーを行うと同時に数多くの CD 録音を行う。チューリッヒ音楽大学教授であると同時に、シドニー音楽院初め多くの客員教授として各国から招聘されている。

***2 年先の夏期講習の予定まで埋まっているルドルフ・コエルマンは、ハイフェッツから受け継がれた音色と共に、テクニックの素晴らしさと共に持つ音楽性を兼ね揃えるヴァイオリニストです。学内でも室内楽オーケストラを結成し、精力的に世界中を飛び回っている彼からのレッスンはまたとない機会となるでしょう。(受講にあたりレベル制限あり)**



●Andreas Janke (アンドレアス・ヤンケ) 教授

Andreas Janke は、Tonhalle-Orchesters Zürich のコンサートマスターを務める。

ミュンヘンで生まれ、モーツァルテウムザルツブルク大学ではソロを Prof. Igor Ozim. に師事、室内楽を Hagen-Quartett に師事。様々な国際コンクール Königin Elisabeth Wettbewerb in Brüssel、Wettbewerb "Prager Frühling" で優勝し、全ヨーロッパおよび日本で公演を行う。London Symphony Orchestra, Royal Philharmonic Orchestra, Tonhalle-Orchester Zürich、die Academy of St. Martin in the Fields. と共演。様々な音楽祭にゲストとして迎えられる。ソニーとも契約を結び、定期的に CD もリリースしている。2013 年からチューリッヒ芸術大学で教授を務める。

***史上最年少でチューリッヒ芸術大学の教授となり、次世代を背負うバイオリニストとして、今ヨーロッパで注目のバイオリニストです。(受講にあたりレベル制限あり)**



●Wendy Enderle (ヴェンディ・エンデレ) 教授

●Matthias Enderle (マティアス・エンデレ) 教授

研ぎ澄まされた表現力、驚くべき完成度、そして比類なき音楽性を兼ね備えた弦楽四重奏団。1984 年にスイスで結成。「パオロ・ボルチアーニ賞」国際弦楽四重奏コンクールで大成功をおさめ(1 位なしの 2 位)、国際的メディアで報じられたことで、その名を世界中に轟かせることとなった。「将来は約束された」(ファイナンシャル・タイムズ)と評され、今まさに世界をリードする弦楽四重奏団である。シャーンドル・ヴェーグ、アマデウス弦楽四重奏団、ラサーン弦楽四重奏団等に師事。ニコラウス・アーノクールとの出会いは、彼らにオーセンティックな(古楽)奏法への強い創造的関心を引き起こした。内田光子、エリザベス・レオンスカヤ、エマニエール・バユ、トルルス・モルク、ヴォルフガング・マイヤー、ザビーネ・マイヤー、アントニオ・メネセス、ヴェロニカ・ハーゲン、オラフ・ペーア、ヴォルフガング・ホルツマイアー 等と共演するなど、その活動の幅を広げている。批評家から高い評価を受けた

DENON のシリーズでは英グラモフォン賞、仏ディアパゾン・ドール、仏ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック誌の Choc(最高評価)、ドイツ批評家賞など数々の賞を獲得し、グラミー賞にもノミネートされた。田部京子と共演した CD「シューベルト:ピアノ五重奏曲『ます』、シューマン:ピアノ五重奏曲」が音楽之友社主催、2008 年度レコードアカデミー賞の室内楽部門賞を受賞。現在、スイス ヴィンターツアーのチューリッヒ音楽大学を拠点として、自らの豊かな経験と優れた芸術性を次の世代へ伝えている。

***各教授が、個々に素晴らしい音楽性を持ち、日本でも大好評を博しているカルミナ四重奏団のメンバーは、チューリッヒ芸術大学でも客員教授の地位にあり、個人レッスンを受けられる機会はとても貴重です。日本でのツアーやCDリリースも行っております。**



●Martina Schucan (マルティナ シュカン) 教授

14 歳の時よりデトモルトでアンドレナヴァラ(D)のマスタークラスを受講。卒業後、ハインリッヒシフ、ダニエルシャフランとヤーンシュシュタルケルの元で研鑽を積む。フィレンツェでのガスパルカサドコンクールで一等賞を初め、国際コンクール多数受賞、世界中でのコンサート活動を行う。バンベルク交響楽団、メトロポリタンオーケストラ東京などの著名なオーケストラと共演、管弦楽団スイスロマン管弦楽は、トーンハレ管弦楽団チューリッヒ等と競演、ルツェルン、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン州、ウィッテン、シュヴェツィンゲン、モンパリエ、ブラチスラバ、北京の国際映画祭等に招聘される。室内楽奏者としても、クフモ室内楽音楽祭、プロイセンコープ、ダボスに参加し、ユーリバシメット、ジョルジ Kurtág、ハインツリガー、ラファエルオレグ、ヴェロニカハーゲン、ヨーグウィッテンバッハ、カルミナ四重奏団などと共演をする。

***現在は室内楽やソリストとして、世界中を飛び回っているマルティナ・シュカンは指導者としても定評があり、毎年パブロカザルスフェスティバル等主要音楽祭へも招聘されています。2012年度はルツェルン夏の音楽祭でも招聘演奏を行う等活躍しています。**



●Loise Pellerin (ルイス・ペレリン) 教授

モントリオール音楽院、フライブルグ音楽大学を最優秀で卒業したカナダ人である彼女は、チューリッヒ室内管弦楽団、ケルン WDR シンフォニーオーケストラ、カメラータベルンなどと共演し、ヨーロッパ、カナダでの国際コンクール審査員となる。そして、チューリッヒ、アテネ、ベルリン、ロンドン、ルツェルン、モントリオール、ニューヨーク、パリ、東京、ローマ、ザルツブルグの音楽祭に招聘され、Andras Schiff, Leonidas Kavakos, Heinz Hollinger, Radovan Vlatkovic と共演する、また演奏ツアーではアメリカ合衆国、ヨーロッパ、アジアにて行う。現在はチューリッヒ音楽大学教授であると共に、カメラータ ザルツブルグのソロオーボエニストとしても活躍。

***カメラータザルツブルグでは、定期的にアンドラーシュ・シフとの共演等室内楽奏者及びソリストとして活躍し、数々のCDでも賞を得るなどの実績を残しています。音色の美しさに惹かれ、彼女の門下には世界中から生徒が集まっています。**



●Fabio Di Casola (ファビオ・ディ・カゾラ) 教授

1998 年にジュネーブでのスイス最優秀音楽家賞を受賞し、1991 年 Winterthur 市立管弦楽団ソロクラリネットリストとなる。Evian でのフェスティバルでその才能を Mstislav Rostropovic に発掘される。Heinz Holliger は Sandor Veress のソロクラリネットリストとして抜擢され、1995 年には Mikhail Pletnev の指揮の下ロシア 国立オーケストラでのソリストを務める。ジュネーブでの CIEM 国際コンクール第一位、Stresa 現代音楽国際コンクール第一位、Prix Suisse の Grand Prix Patek Philippe 第一位。

***現在は、ARD国際コンクールの審査員もザビーネ・マイヤーやカール・ライスターと共に務め、世界の第一線で活躍をしています。音色の美しさや多彩な色彩感と共に奏でられる音楽にはクラリネット音楽の大きな可能性を感じます。**



●Thomas Ruedi (トーマス・リュエディ) 教授

1969 年スイス、ベルン生まれ。11 歳で ユーフォニアムを始める。幼少の時から様々な学生コンクールで優勝するなど頭角を現した。1990 年から 95 年までイギリス、シェフィールド大学でユーフォニアム、指揮、作曲、編曲を学んだ。学生時代はイギリス国内の著名金管バンドでも活躍した。ソリストとして世界中のオーケストラ、吹奏楽団、金管バンドなどと共演、またソロリサイタルや室内楽のコンサートを精力的に行っている。A. Dubach, S. Carolino, P. MacCann など世界中の優れた共演者からインスピレーションを受け様々なプログラムに取り組んでいる。演奏家としての活動のほか、Musikhochschule Luzern, Hochschule der Künste Bern で教授としてユーフォニアム、室内楽の指導にあたっている。また世界各地でもマスタークラスや個人レッスンなどを行っている。ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジアなど世界中で精力的に活動。1999 年ミュンヘンで開

催された European Solo Championships for brass players での優勝を始め、数々の国際コンクールでの入賞歴がある。これまでに「Elegie」、「Synthesis」2 枚の CD をリリースしておりいずれも話題になっている。チューリッヒ・トーンハレ交響楽団を始めスイスの著名なオーケストラでの客演も務めている。

***日本での公開講座でも好評を博したトーマス・リュエディは、呼吸法や基礎的なテクニック等も含めて、とても丁寧なレッスンを行います。世界的に第一線で活躍をしている教授からのレッスンは、またとない機会になるでしょう。**



●Scot Weir (スコット・ワイヤー) 教授

主要な音楽祭、(ザルツブルク音楽祭、ハイドン音楽祭、ベルリン音楽祭、ベルリンバッハ音楽祭等)に招聘されている、テノールのスコットワイヤーは、アメリカで生まれ、コロラド大学の Prof. Louis nningham, Dr. Barbara Doscher, Kammersänger Gerhard Hüscher, Gerard Souza, Renato Cappuchi, Ralph Herbert の元で学ぶ。度々、チューリッヒオペラハウス、パリのオペラ座等にも招聘され Nicolaus Harnoncourt, Roger Norrington, Helmuth Rilling, Peter Schreier, Gennadi Nikolajewitsch Roshdestwenskiy, Charles Dutoit, Sir Charles Mackerras, Jesus Lopez Cobos の指揮の下、でゲスト出演している。

1500 以上の歌曲、や 200 以上のオラトリオ、75 作品以上のオペラをレパートリーとしている。1995 年からはベルリンのハンスアイスラー音楽大学で教授を務め、同時にバッハアカデミー(シュトゥットガルト)やコロラド大学のマスタークラス等の指導も行っている。2005 年からチューリッヒ芸術大学の教授となる。

※ 全ての楽器での受講が可能です。他楽器で詳細経歴をお知りになりたい方は事務局までお問合せ下さい。

2018年 夏期スイス国立チューリッヒ芸術大学マスタークラス 参加申込書

※必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

申込日 年 月 日

氏名	フリガナ 姓	フリガナ 名	写真 (4.0cm × 3.5cm)		
	ローマ字 (LAST NAME)	(FRIST NAME)			
	パスポート記載名 (ローマ字)	(FRIST NAME)			
生年月日	年 月 日	年齢	歳	性別	男・女
保護者氏名	フリガナ <small>※18歳以下の方は保護者の同意が必要です</small>	専攻楽器			
住所 (書類送付用)	フリガナ 〒 都道府県 区市郡				
電話番号	()	携帯電話	()		
FAX	()	e-mail(必須)			
パスポート情報	<番号>	<有効期限>	年 月 日	国籍	
緊急連絡先	<氏名>		<続柄>		
	〒		TEL		
レッスン曲目 ①	邦題<作曲者名>	<邦題>	<演奏時間>		
	原語<作曲者名>	<作曲者の年代>	<原題>		
	※欄外参照				
レッスン曲目 ②	邦題<作曲者名>	<邦題>	<演奏時間>		
	原語<作曲者名>	<作曲者の年代>	<原題>		
	※欄外参照				
追加レッスン	()回希望する・検討中・希望しない	希望日程	A日程・B日程・C日程		
学歴・賞歴					
現在までに 師事した先生					
航空券手配	<input checked="" type="checkbox"/> 航空券手配を希望 <input checked="" type="checkbox"/> 航空券手配は不要 <input type="checkbox"/> 成田発 <input type="checkbox"/> 関空発 <input type="checkbox"/> その他 ※アレンジが必要な場合はご希望の詳細をご記入ください。				
署名	上記の内容で申込をします 署名 _____		日付	印	

※レッスン曲の原語は作曲者(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください

例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr.30 op109

1,Vivace ma non Troppo

2,Prestissimo

3,Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo

※手配に必要なため、この申込用紙と一緒にパスポートの顔写真ページのコピーをご提出ください(渡航者全員分)。

申請中の方は出来上がり次第、ファックスまたは郵送にてお送りください。

Internet Download

©TIAA